

<報道用資料>

平成 23 年 10 月 12 日

泰星コイン株式会社

鑄造：オーストラリア・パース造幣局 / 発行：オーストラリア連邦

辰年龍図記念コイン

10 月 17 日(月)より国内予約販売開始

泰星コイン株式会社（本社：東京／社長：岡 政博）は、「辰年龍図記念コイン」の日本国内での予約販売を、栃木、新潟、北陸、静岡、三重、中国、長崎地区の金融機関と泰星コイン株式会社などを通じて 10 月 17 日（月）より開始いたします。このコインは、2012 年の十二支である辰年を記念して、オーストラリア・パース造幣局が鑄造し、オーストラリア連邦政府が発行するものです。価格は、100 豪ドル金貨が 336,000 円(限定 400 枚)、25 豪ドル金貨が 94,500 円(限定 400 枚)、30 豪ドルカラー銀貨が 252,000 円(限定 300 枚)、1 豪ドル銀貨 4 種セットが 54,600 円(限定 800 セット)（いずれも税込価格）で、1 豪ドル銀貨はセット販売のみとなっています。

■毎年最初に日本へ紹介される十二支コイン

各国の造幣局から鑄造される十二支コインの中でも、毎年最初に日本へ紹介されるオーストラリア連邦政府が発行する十二支コインです。金貨・銀貨には、辰年を表す「Year of the Dragon」と漢字の「龍」が刻まれています。金貨裏面には天を舞う龍の姿が、銀貨裏面には踊る龍が、いずれも力強くデザインされています。

■迫力のある 1Kg 大型カラー銀貨

美しいプルーフ仕上げの金貨は、黒いメタリックベースのボックス付で豪華な輝きを放ちます。1Kg の大型カラー銀貨は、迫力の質感と鮮やかなカラー着色が施されています。またバラエティーに富んだ銀貨 4 種セットは、<プルーフ>、<K24 金メッキ>、<カラー>、<未使用>と 4 種類の異なった仕上げが並ぶ楽しいコレクターアイテムです。

■金貨・銀貨ともに高品位

金貨は 99.99%の純金、銀貨は 99.9%の純銀と共に高品位の仕様です。いずれもオーストラリア連邦政府が品位と重量を保証する、辰年龍図記念コインはオーストラリア・パース造幣局の精緻なデザインと洗練された鑄造技術による、最高級のコレクションとなっております。

発行限度数も 100 豪ドル金貨 3,000 枚(対日割当数 400 枚)、25 豪ドル金貨 5,000 枚(対日割当数 400 枚)、30 豪ドルカラー銀貨 7,000 枚(対日割当数 300 枚)、1 豪ドル銀貨 4 種セット 1,000 セット(対日割当数 800 セット)と限定されており、希少性が大変高くなっています。

辰年龍図記念コイン発売概要

販売価格■

A: 100 豪ドル金貨	336,000 円	(限定 400 枚)
B: 25 豪ドル金貨	94,500 円	(限定 400 枚)
C: 30 豪ドルカラー銀貨	252,000 円	(限定 300 枚)
D: 1 豪ドル銀貨 4 種セット (①②③④)	54,600 円	(限定 800 セット)

※いずれも税込み価格です。

※すべて特製ケースと発行証明書を添付します。

※1 豪ドル銀貨はセットでの販売のみです (単品販売はいたしません)。

規格および発行限度数■

	額 面	品位	重量	直径	状態	発行限度数	対日割当数
金貨	100 豪ドル金貨	99.99%	31.112 g	39.34mm	プルーフ	3,000 枚	400 枚
	25 豪ドル金貨	99.99%	7.777 g	22.60mm	プルーフ	5,000 枚	400 枚
銀貨	30 豪ドル銀貨	99.9%	1001.002 g	100.60mm	未使用	7,000 枚	300 枚
	1 豪ドル銀貨	99.9%	31.135 g	45.60mm	プルーフ/ 未使用	1,000 セット	800 セット

※プルーフとは表面を鏡のように美しく磨いた特別仕上げのことです。

発売開始日 ■ 平成 23 年 10 月 17 日 (月) 一斉発売開始 ※発売窓口は別頁参照

鑄 造 ■ オーストラリア・パース造幣局

発 行 ■ オーストラリア連邦

輸 入 元 ■ 泰星コイン株式会社

本件に関するお問い合わせ先

《辰年龍図記念コイン》事務局 (泰星コイン内)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-23-2 UBG 東池袋ビル 1F

担当/本田、馬場、小野、宮崎、庄司

TEL. 03-3590-8276 E-mail: secretariat@taiseicoins.com

FAX. 03-3590-8305 <http://www.taiseicoins.com/>

デザインと解説-1

<表 面>

(すべての金貨/銀貨共通)

イアン・ランクブロードリーによる女王エリザベス 2 世の肖像と発行年、額面、オンス単位の重量、品位が刻まれています。



金貨



銀貨

デザインと解説-2

<裏 面>

(金貨共通裏面デザイン)

天を舞う龍と如意宝珠（真珠）が描かれています。この玉は開運の象徴とされています。漢字の『龍』と辰年を表す英語の『Year of the Dragon』、右側にある“P” はオーストラリア・パース造幣局のミントマークで、伝統を誇る優れた貨幣製造技術の象徴です。

A. 100豪ドル金貨



B. 25豪ドル金貨



デザインと解説-3

<裏面>

龍と開運の象徴とされる如意宝珠（真珠）が描かれています。カラー銀貨には、赤い龍が描かれており、赤は、立身出世、幸運、繁栄をもたらすと考えられています。漢字の『龍』と辰年を表す英語の『Year of the Dragon』、右側にある“P”は、オーストラリア・パース造幣局のミントマークです。

30ドル銀貨は、カラー未使用貨です。1ドル銀貨は、左側からプルーフ貨、K24金メッキ未使用貨、カラープルーフ貨、未使用貨の4つのタイプをセットにしています。

C. 30豪ドルカラー銀貨



D. 1豪ドル銀貨4種セット



① プルーフ貨



② K24金メッキ未使用貨



③ カラープルーフ貨



④ 未使用貨

商品の外観及び販売価格

A：100豪ドル金貨

336,000 円（税込）

限定 400 枚



*精緻なデザインを引き立てる美しいプルーフ仕上げ。
黒いメタリックボックスの中で存在感がいちだんと増します。

B：25豪ドル金貨

94,500 円（税込）

限定 400 枚



*純金ならではの輝きを最大限に魅せる美しいプルーフ仕上げ。
コンパクトながらあたかも宝石のような輝きを放ちます。

C：30豪ドルカラー銀貨

252,000 円（税込）

限定 300 枚



*直径約 10cm、重量約 1 Kg とずっしり迫力あるボリューム感。
鮮やかなカラー仕上げがシルバー 素材に映える一品です。

D：1 豪ドル銀貨4種セット

54,600 円（税込）

限定 800 セット



*プルーフ貨、K24 金メッキ未使用貨、カラープルーフ貨、未使用貨。
それぞれの味わいが魅力的なコレクターズアイテムです。

(参考資料)

十二支とは

日本においても馴染みのある十二支は、毎年の年賀状やカレンダーなどにデザインされるとともに、自分の干支を迎える人々に幅広く親しまれています。

十二支が作られたのは古代中国で、当時は天文学で数を数えるための言葉（数詞）として用いられていました。

その頃の天文学者は12年で天を一周する木星（歳星）の位置を表すのに「子の区分にあるから子年」と言う風に示していたようで、それが殷の時代には既に使われていたとの事です。

そして、文献に十二支が出典したのが後漢時代の『論衡』で、作者は王充（おういつ）といい、十二支が浸透しやすいようによく知られているネズミや牛などの動物を当てはめたとされます。

六世紀後半の、飛鳥時代の頃の日本にも伝播し、江戸時代にはすっかり定着していたようです。

十二支については中国・日本に限らず、台湾やモンゴル、意外な所ではロシアやベラルーシにも広がっているなど、ユーラシア大陸各地に浸透しています。

2012 年は辰年

龍（辰）には強く神々しいイメージがあります。辰は、天に昇ることから縁起良く、十二支の中でも非常に人気が高い事で知られています。また辰年は、飛躍の年と言われております。辰年の方は、陽気で、義侠心があり、目下の人の面倒をよく見るタイプ、人間関係を上手に築いていく性格の方が多いと言われております。大きなことをするのが大好きで、一見温和に見えるものの、非常に強い信念を持ち、高い理想を追いかけしています。自尊心が強く、傲慢と見られてしまうことも、気位が高い辰年ならではの事です。直観力や想像力、集中力、というのが人一倍あり、行動力もあります。芸術的センスが鋭く、特化した分野で活躍する人が多いのも、辰年の特長です。辰年の年男・年女は1928, 1940, 1952, 1964, 1976, 1988, 2000 年そして2012 年生まれの方々です。

オーストラリア・パース造幣局

オーストラリア・パース造幣局は、1899年に英国王立造幣局の支局として設立し、オーストラリアで最も古い歴史を誇る現存する造幣局です。当初は西オーストラリアで発掘される金の精錬とそれを使ってインド等、英国政府の植民地に向けたソブリン金貨を鑄造しており、1931年に英国が金本位制を廃止するまで続けました。その後変遷を重ねて、1970年には所有権を西オーストラリア州政府に移管しました。

1986年にはパース造幣局の代名詞でもあるナゲット金貨（現在のカンガルー金貨）を発表し、1997～2000年にはシドニーオリンピック公式コインの鑄造も行いました。

2006年には独立法人造幣局（日本）が海外造幣局との初コラボレーション企画で実現した、日豪交流年記念銀貨も鑄造し、その卓越した技術力は世界でもトップレベルと日本でも認知されています。

発売窓口

地方銀行 足利銀行、北九州銀行、清水銀行、十八銀行、親和銀行、スルガ銀行、中国銀行、
富山銀行、百五銀行、広島銀行、福井銀行、北越銀行、北陸銀行、北國銀行、
三重銀行、山口銀行

第二地方銀行 第三銀行、富山第一銀行、福邦銀行、もみじ銀行